

令和6年度全国学力・学習状況調査について（お知らせ）

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃、本校の教育活動にお力添えをいただきまして、まことにありがとうございます。

さて、下記のとおり、令和6年度全国学力・学習状況調査結果及び分析・考察した内容についてお伝えいたします。

記

1 全国学力・学習状況調査とは

全国学力・学習状況調査は、小学6年生と中学3年生を対象に行われている調査です。文部科学省及び県・市教育委員会が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る目的で行われています。

2 堀之内小学校の結果分析・考察

(1) 教科に関する調査（平均正答率の比較）

◎高い ○やや高い ▽やや低い ▼低い

国語	全体	知識・技能			思考力・判断力・表現力等		
		言葉の特徴 や使い方	情報の 扱い方	我が国の 言語文化	話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと
全国との 比較	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
県との比較	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
算数	全体	数と計算	図形	変化と 関係	データの 活用		
全国との 比較	○	▽	▽	▽	◎		
県との比較	○	○	▽	○	◎		

<堀之内小の国語について>（○正答率が高い ●正答率が低い）

○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。【問題番号2の一(2)】

○読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができる。

【問題番号3の四】

●資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。

【問題番号1の二(2)】

●漢字を文の中で正しく使うことができる。【問題番号2の三ア】 きょうぎ（答）競技

<今後の国語の学習について>

- ・言葉の意味を理解しながら、正しく漢字を書く。
- ・制限字数内で、自分の考えをまとめて書く。
- ・自分の考えや思いが相手に伝わるような書き方や話し方を身に付ける。

<堀之内小の算数について> (○正答率が高い ●正答率が低い)

○円グラフの特徴を理解し、割合を読みとることができる。【問題番号5(1)】

○表から必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができる。

【問題番号5(2)】

●球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係をとりえ、立方体の体積の求め方を式に表すことができる。【問題番号3(3)】

●道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できる。【問題解決4(3)】

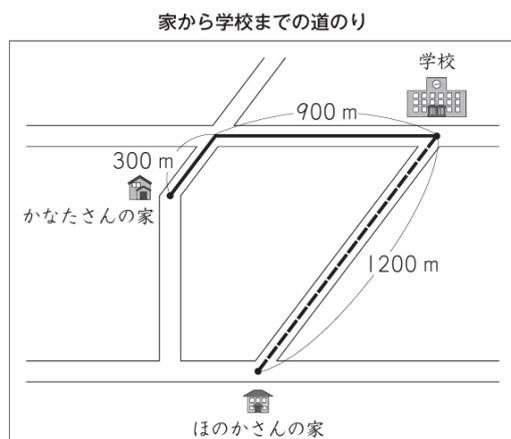
●速さの意味について理解している。【問題解決4(4)】



左のQRコードより
問題、正答例、解説を
見ることができます。

※ 正答率が最も低かった問題

(3) かなたさんとほのかさんは、それぞれの家から学校まで歩いて行きました。



家から学校までの道のりは、上の図のとおりです。

家から学校まで、かなたさんは20分間、ほのかさんは24分間かかりました。

それぞれの家から学校までの歩く速さを比べると、かなたさんとほのかさんのどちらが速いですか。

下の **1** と **2** から選んで、その番号を書きましょう。

また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

1 かなたさん

2 ほのかさん

<今後の算数の学習について>

- ・公式を暗記するのではなく、なぜそうなるのかをじっくりと考える。公式を理解する。
- ・必要な数値を用いながら、筋道を立てて説明ができる。

(2) 質問紙調査 (全国、県平均と比べて +…大きく上回る -…下回る)

- +自分にはよいところがある。
- +人の役に立つ人間になりたい。(100%)
- +人が困っているときは、進んで助けている。
- +5年生までに、授業でタブレットをどの程度使用しましたか。
- +対話を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる。
- +国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。(100%)
- 算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている。
- 英語の勉強は大切だと思う。

<質問紙の結果から>

堀之内小の子どもたちは、自己肯定感が高く、友達に優しく接している。今年度力を入れている、自分や友達のよさを見つけて伝える取り組みの成果が表われていると思う。御家庭でも、お子さんのよい表れを積極的に伝えていただきたい。学習面では、タブレットを効果的に活用し、学習内容の理解に役立てていることが分かる。

授業では、考えを広げたり、深めたりすることにやや消極的な様子が見られる。今後は、普段の授業を工夫し、友達との対話の機会や自分で考える時間を設け、子どもたち一人一人がよりよい考えがもてるようにしていきたい。

担当 教務主任 (八塚)
電話番号 35-2108